

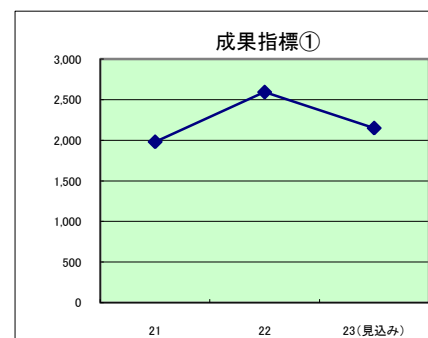
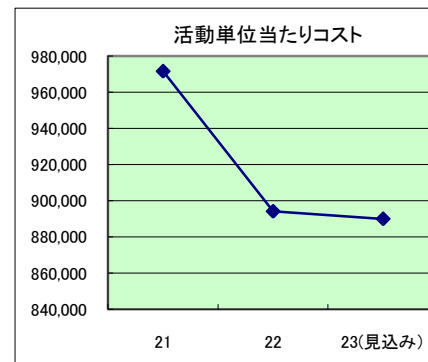
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

教生社07

事務事業名		市民文化祭事業		予 算 科 目	会計	1	一 般 会 計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費	
	施策(節)	5	市民文化・芸術		項	5	社会教育費	
	施策の方向	(2)	文化・芸術活動の促進と仕組みづくり		目	1	社会教育総務費	
	関連する計画等				事業	2	社会教育振興	
作成部署				教育委員会事務局生涯学習室社会教育課				
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4450			
	市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	文化活動の奨励と普及を図り、文化振興の機運を高めることに寄与する。							
	市民文化祭実行委員会との共催により企画・運営される。							
	開会式のほか、20部門17大会に分かれて開催し、日頃の生涯学習の成果の発表の場を提供する。また、広く、一般に公開することにより、市民文化交流の場、ひいては、地域コミュニティー創造に寄与し、当市の文化の高さを内外にアピールする。							
日程: 文化の日(祝)を含む10月下旬から11月上旬の土曜と日曜に開催。								
根拠法令等		社会教育法、文化芸術振興基本法						
事業開始時期		☒ 昭和 34 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度		
事業開始時からの状況変化								
市民や議会の要望								
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容				

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		2,455	2,557	2,460
人件費【2】 (千円)		3,375	2,808	2,880
職員数	正規職員	0.45 人	0.39 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	50.00 時間	50.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		5,830	5,365	5,340
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	5,830	5,365	5,340
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 開催日数	日	6	6	6
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		971,667 円	894,167 円	890,000 円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		49 円	45 円	45 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	①	ホール利用大会の入場者数 (式)	人		目標	2,080	2,080	達成率(%)		2,150	
					実績	1,980	2,595	124.8%			
	②	(式)			目標			達成率(%)			
					実績						

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民により創意工夫された文化活動を支援し、生きがいを感じてもらふことや、市の文化を内外に発信することは、行政固有の業務である。

視点	分析のためのチェック点				はい いいえ 該当なし			分析・評価の説明
					はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い				☒	☐	☐	市民の文化活動の成果を発表する機会を提供・支援する事業であり、ニーズは高い。現在のところ、年配の市民中心の運営になっているため、世代間で、関心の高さに差があると考えられる。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない				☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している				☐	☒	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない				☒	☐	☐	
	国・府の事業と重複していない				☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい				☒	☐	☐	
	緊急性が認められる				☐	☐	☒	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)				☒	☐	☐	実行委員会により自主的に運営されており、現在でも、職員の関与の度合いは低い。参加者の文化活動の成果を発表する場ではあるが、広く一般に無料で公開することで、市民全般に文化的な潤い、満足を与えるため、出展料等の受益者負担はなじまない。
	受益者負担の割合は適当である				☐	☐	☒	
	人員を削減する余地がない				☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない				☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない				☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない				☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない				☒	☐	☐	
有効性	上位の施策(目的)が明確である				☒	☐	☐	市民全般の趣味を実践し発表する場を提供することで、生きがいのある生活を営んでもらえ、活気ある街づくりにもつながる。ただ、年配の市民が中心なので、若い世代の参加を促進する必要がある。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である				☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない				☐	☒	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている				☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している				☒	☐	☐	羽曳野市文化連盟の役員を中心とした実行委員会により運営されており、協働性は図られている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている				☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している				☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている				☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である				☒	☐	☐	達成している。
	成果指標の実績値は目標値以上である				☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している				☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	実行委員会により自主的に運営されており、現状の規模が適当で有ると考える。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 実行委員会や参加団体、市民の理解・協力を得ながら、コストを増やさずにより多くの人に楽しんでもらえるよう、企画をしていく。特に、若い世代の参加を増やす方策を検討する。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	